

助手
中村 愛奈

■ 学歴

1. 2024 年 西南女学院大学 保健福祉学部 栄養学科 卒業

■ 学位

1. 2024 年 学士（栄養学）

■ 研究分野

1.
2.
3.

■ 研究キーワード

1.
2.
3.

■ 研究課題

1.
2.

■ 担当授業科目

1.
2.
3.
4.
5.
6.
7.
8.
9.
10.

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	授業科目名【食品栄養実習】
	調理とは違った実習になるため、作り方のイメージがつかない学生が多かった。そのため、作り方が

	あっているか随時確認を行った。また、実習時間内に終わるよう学生に声掛けを行った。
2.	授業科目名【食品衛生学実験】 実験が時間内に終わるよう、事前に器具の準備や使用する試薬の調整などを行った。実験を苦手とする学生が多かったため、失敗しないように注意しながら対応した。
3.	授業科目名【栄養教育論実習Ⅰ】 集団指導の班編成を行う上で、班のメンバーがバランスよくなるように考えながら班編成を行った。作業がほかの班より進んでいないところにはできる限り声掛けを行った。
4.	授業科目名【臨床基礎医学実習】 心電図計や骨密度計など機械の操作が必要な場合には、学生にわかりやすく丁寧に伝えるよう心がけた。また、学生からレポートの問題について質問があったときに直ちに回答できるよう、予習をした。
5.	授業科目名【解剖生理学実習】 機械の操作方法やグラフの書き方、最大酸素摂取量の求め方など説明を受けないとわからないようなことは積極的に学生に助言するようにした。血液のギムザ染色では実習書の手順通りに進んでいるか確認するために声掛けを行った。
6.	授業科目名【公衆栄養学実習】 グループ活動が多いためみんなで協力して課題を行っているか確認し、円滑に進んでいないグループにはアドバイスや助言をした。グループ活動をしている際には質問が多いと感じたので、できるだけ学生の周りを歩いて対応した。
7.	授業科目名【地域栄養活動論】 臨地実習Ⅲに関わる授業のため先生からいただいた資料に間違いがないかの最終確認を行うようにした。実習先から出された課題をそれぞれ確認し、頭に入れておくことで学生から課題について質問があった際に、迅速に対応できるようにした。

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2024 年 10 月～現在に至る	日本栄養士会	
2.			
3.			

■ 研究業績等に関する事項（2024 年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
（著書）					
1.					
2.					
3.					
（学術論文）					

1.					
2.					
3.					
(翻訳)					
1.					
2.					
3.					
(その他)					
1.	2025.3	「食と健康」に関する西南女学院大学・九州歯科大学連携公開講座～治療食(嚥下食)の調理体験～	共	西南女学院大学・西南女学院大学短期大学部地域貢献活動報告 2024	①口腔機能と栄養は密接に関連している。2 大学が連携して、2024 年 11 月に「治療食(嚥下食)の調理体験」をテーマに高校生とその保護者を対象とした咀嚼や嚥下に関する講座を開催した。本連携公開講座における地域住民への情報発信と健康支援活動について報告した。 ②共著名：高崎智子、渡邊和美、黒岩かすみ、中村愛奈、邵 仁浩、中道敦子、辻澤利行、船原まどか、磯部彩香 ③(p.9~11)
2.					
3.					

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.				
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2024.11.2	「食と健康」に関する西南女学院大学栄養学科・九州歯科大学口腔保健学科連携公開講座	「治療食(嚥下食)の調理体験」 企画・運営
2.			
3.			

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.			
2.			
3.			